

学会ランチョンセミナーのご案内 「夢を形に～BBBを突破するナノマシンの開発と社会実装」

- ・11/25、第41回日本バイオマテリアル学会大会（つくば国際会議場）にてランチョンセミナーを開催。
- ・血液脳関門（BBB）を透過するナノミセルの設計、基礎研究、応用研究、社会実装について最新の知見を発表。

報道関係者 各位

平素は大変お世話になりましてありがとうございます。

文部科学省・科学技術振興機構「センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム」の川崎拠点として「体内病院」の確立を目指す公益財団法人川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター（センター長：片岡一則、所在地：川崎市川崎区殿町、略称：iCONM）と脳内への薬物送達技術で事業を営む株式会社ブレイゾン・セラピューティクス（社長：戸須真理子、所在地：東京都文京区本郷）は、11/25につくば国際会議場にて開催される第41回日本バイオマテリアル学会大会（<http://jsbm2019.org>）にてランチョンセミナーを共同開催することとなりました。

血液脳関門（BBB: Blood-Brain-Barrier）は、脳毛細血管を流れる血液と脳組織液の間で物質輸送をする際、他の組織に比べて厳格な制限を加えるバリア機構のことです。脳という極めて重要な組織を守るための生理的防御手段となるものの、このBBBの存在は、脳内への薬剤送達をしばしば困難なものにします。本研究グループでは、生体への安全性が担保された合成高分子を水溶液中で自己組織化させることで得られるナノ粒子（ナノマシン）の表層にグルコース分子を化学的に結合し、脳血管内皮細胞に局在するグルコーストランスポーター1を認識させ、さらに血糖値を精密に制御することでBBBを効率的に通過させることに成功しました。本セミナーでは、そのナノマシンの設計から、脳内物質輸送に関する最新の知見、そしてその事業化に取り組むブレイゾン・セラピューティクス社の現状と今後の展望について報告させていただきます。みなさまお誘いあわせの上、ご来場いただければ幸甚に存じ上げます。

尚、12/13には川崎市産業振興会館ホールにて、イノベーション・エコシステムをテーマにしたシンポジウムを開催予定です。世界的にも有名なボストン・ラボセントラルから Dr. Johannes Fruehauf (President) および Ms. Noa Asher (在日イスラエル大使館公使) を Keynote Speaker としてお呼びしており、両国のエコシステムを学ぶ機会です。詳しくは、<https://coins.kawasaki-net.ne.jp/event/sympo2019.html> をご覧ください。

公益財団法人川崎市産業振興財団について

産業の空洞化と需要構造の変化に対処する目的で、川崎市の 100%出捐により昭和 63 年に設立されました。市場開拓、研究開発型企業への脱皮、それを支える技術力の養成、人材の育成、市場ニーズの把握等をより高次を実現するため、川崎市産業振興会館の機能を活用し、地域産業情報の交流促進、研究開発機構の創設による技術の高度化と企業交流、研修会等による創造性豊かな人材の育成、展示事業による販路拡大等の事業を推進し、地域経済の活性化に寄与しています。

<https://www.kawasaki-net.ne.jp/>

ナノ医療イノベーションセンターについて

ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) は、キングスカイフロントにおけるライフサイエンス分野の拠点形成の核となる先導的な施設として、川崎市の依頼により、公益財団法人川崎市産業振興財団が、事業者兼提案者として国の施策を活用し、平成 27 年 4 月より運営を開始しました。有機合成・微細加工から前臨床試験までの研究開発を一気通貫で行うことが可能な最先端の設備と実験機器を備え、産学官・医工連携によるオープンイノベーションを推進することを目的に設計された、世界でも類を見ない非常にユニークな研究施設です。

<https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/>

株式会社ブレイゾン・セラピューティクスについて

株式会社ブレイゾン・セラピューティクスは、ナノ医療イノベーションセンター長の片岡一則先生ならびに東京医科歯科大学教授横田隆徳先生の医工連携の研究成果である脳内への薬剤送達技術を、創薬基盤技術として実用化レベルまで開発し、製薬企業ならびに診断薬企業への技術ライセンス、創薬アライアンスを通して、脳神経疾患における画期的な治療薬、診断薬をいち早く患者へ届けることを目指しています。そのために、ブレイゾン・セラピューティクスは、ナノ医療イノベーションセンター、東京大学ならびに東京医科歯科大学やその他のアカデミアとの連携に加え、脳神経疾患の克服に取り込んでいる製薬企業と共同研究を進め、世界の製薬会社から上市される脳神経疾患の治療薬には、ブレイゾンの送達技術が生かされている世界を目指します。

<http://braizon.com>